



NISHIMURA VILLAGE

2019 5月

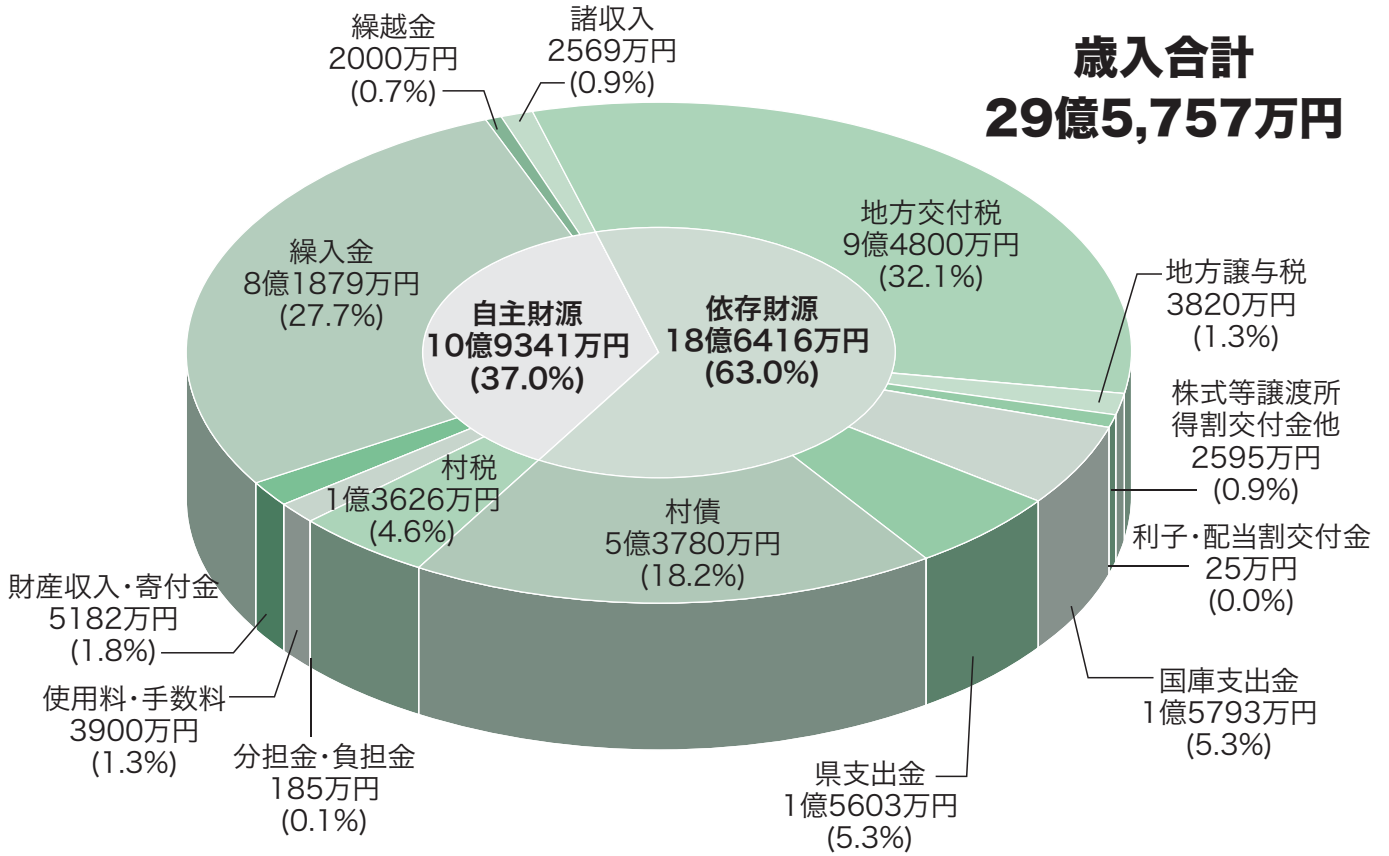
No.153

発行：西米良村議会

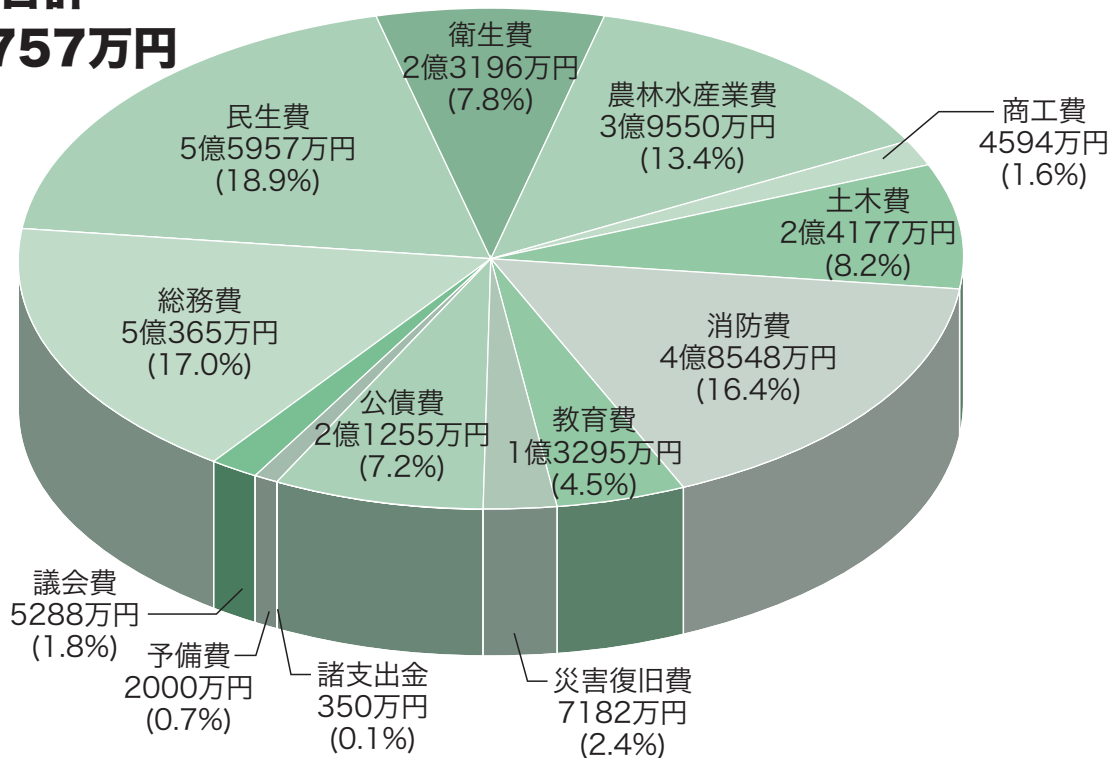
にしむら 議会だより

新庁舎議場

西米良らしくある為に



歳出合計 29億5,757万円



平成31年度 一般会計

村政130周年

平成31年第1回村議会定例会は、3月1日から7日までの7日間の会期で開催されました。村長から提出された、平成31年度一般会計及び特別会計当初予算7案件のほか、30年度の補正予算8件、条例の制定・改正4件、過疎計画の変更、村道路線の認定、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについての計22案件を審議し全議案を可決しました。

また、4名が一般質問を行いました。

◆平成31年度一般会計・特別会計予算

会計名		平成31年度予算	平成30年度予算	前年比
一般会計		29億5,757万円	25億3,231万円	16.8%
特別会計	国民健康保険事業	2億6,037万円	2億6,451万円	△1.6%
	国民健康保険診療施設勘定	2億5,980万円	2億8,300万円	△8.2%
	介護保険事業	2億1,281万円	2億1,034万円	1.2%
	後期高齢者医療事業	2,367万円	2,493万円	△5.1%
	簡易水道事業	6,115万円	5,308万円	15.2%
	下水道事業	2,541万円	2,481万円	2.4%
合計		38億78万円	33億9,298万円	12.0%

◆一般会計の主な事業

・住民参加型むらづくりファンド事業	1,514万円
・高齢者配食サービス事業	173万円
・認定こども園整備事業	2億708万円
・小川作小屋村修繕事業	716万円
・公有林整備事業	5,046万円
・デジタル防災行政無線整備事業	4億5,138万円
・インバウンド対策事業	321万円
・村道改良等工事（荒谷2号線改良工事他12路線）	1億6,100万円
・西米良村政施行130周年記念事業	745万円
・村営住宅建設事業（上米良地区に3戸建設）	7,700万円
・明日への翼事業	1,114万円
・中学校学力向上対策事業	2,338万円
・米良神楽の重要無形文化財指定事業	406万円

一般会計当初予算質疑

問1 村政130周年記念行事の実施内容等については？

役に立てるような機能を充実していこうと思っ

答1 式典の内容については、オープニングイベント、アトラクション他、130年の歴史を綴ったビデオ等の上映、功労者への表彰等を予定している。

問3 米良バイト運営補助金、カップリングイベント補助金について、支出先と事業計画はどのようになっているか？

答3 米良バイトについては米良バイト実行委員会という農業関係の若手が集まる団体に支出している。事業内容としては、バイト募集、PR広告費、交通費補助、宿泊施設の補助等を行っている。カップリングイベントについてはめぐり逢い実行委員会という独身者の会がありこちらに支出を行う。観光会社と連携し独身者のツアーを開いたり、他団体と連携して実施していきたい。

問2 今後の職員の採用人数等についてどのようなことを考えているか？

答2 退職者補充ということでは確保が難しい状況であるため、例えば看護師、保育士、栄養士等の有資格者については随時募集を行う体制をとっていく。財政状況をしっかりと把握しながら、質の高い職員を確保し、また教育し村民の皆さんのお

問4 財務諸表の活用についてはどうに行われているのか？

答4 財務諸表の作成時期が、次年度の当初予算編成の締め切り後になるため現状としては直接財務諸表を活用する状況にない。今後も引き続き反映のさせ方ややり方等について検討を行っていき

問5 村づくりファンド事業補助金の内容は？

答5 ファンド事業の対象としては、村民から上がってくる村づくりに対する事業への補助を行うということになります。平成30年度においてはハ

問6 職員の研修参加負担金が31年度は計上されていないが、若い職員も増えてきているので村内企業での研修等を行うべきではないかと考えるが？

答6 これまでも議会の中でご指摘がありました。村内の受け入れ事業所さんと職員の調整が間に合わず平成30年度は1件しか行われなかった。今後も地場産業の研修等を通じて広い視野を養うことは職員に必要であると思われるので継続して考えていきたい。

問7 明日への翼事業について、研修参加者による今後の取り組み等についてどのような計画があるのか？

答7 先日ワークショップを開いたが、研修参加者それぞれが具体的にどのような行動すればよいかまだ分からないという

問8 村所驛のレジスター購入費が計上されているが、今後のインバウンド対応等を考えるとキャッシュレスが必要になると思われるが、どのように考えているか？

答8 宮崎県内でもインバウンドに向けてのキャッシュレスについて様々な研修が行われている。しかし、キャッシュレスにすると施設に手数料等が発生するため、今後の状況等、情報を得て実施に向けては検討していきたい。

問9 31年度については、まだ申請がありません。予算の確保をさせていた

た

問9 配食サービス事業委託の対象者の年齢、人数、また単身高齢者向けということであるが高齢のご夫婦の方もおられる対象とならないのか？

答9 基本的には単身の高齢者、75歳以上で低栄養状態の方々にお弁当を配付するという事業であり、今年度の状況で考えると20名ほどが対象となると思う。ご夫婦で高齢者という世帯についても低栄養状態であれば当然配食はさせていたただきたい。個人負担もあるので事業内容を説明し利用していただけるように対策をとっていききたい。

問10 バス・タクシー利用券の活用方法について、その後の検討状況は？

答10 民間との兼ね合いを含め平成31年度中に議論を深め、平成32年度から新たな制度等も含めた検討を進めていきたい。

問11 農業水産基盤事業補助金280万円の事業内容は？

答11 天包のビニールハウスへの水確保と新規就農者向けの施設整備を予定しており、補助率3分の2により事業を実施する。

問12 ゆず振興対策事業補助金の内容は？

答12 ゆず残渣と作業道の生コン舗装、また枝切り用のチェーンソーなどについて、県の補助事業を活用する形で行うこととしている。

問13 観光看板製作委託料について、その設置場所等を伺いたい。

答13 観光看板の内容としては、インバウンド対応の多言語看板を予定している。設置場所については今後の検討で決めたものが観光施設になると思う。

問14 ブロック塀安全確保事業補助金の内容は？

答14 現在箇所は限定していないが、個人に対するブロック塀の撤去費補助金として計上している。教育委員会と建設課で鶴地区等を調査した箇所があり、現状としてはまだ相談はないがそのような話があれば対応していきたい。

問15 IP告知端末整備委託料の内容は？

答15 現在のホイホイラインが更新時期になっており今後の内容について検討を行っている。既存のものを使い勝手が大きく変わらず、スマートフォンとの連携など利便性を向上させられるようなものとして整備してまいりたい。

問16 デジタル防災無線整備工事の内容及び財源は？

答16 消防等で利用している防災無線のデジタル化に伴い、アナログ波からの移行のための工事を行うものである。財源については、IP告知端末などと連携させることにより100%地方債の対象とできることもあり、これを利用して事業を行うこととしている。現状よりもエリアは広がるということではあるが、地形的条件で電波の届かない場所が出てくると思われるので、様々な手段を用いた連絡体制の確保は必要であると考える。

問17 村教育研究会補助金の内容は？

答17 研究公開3か年計画の最終年度ということ、31年度も小中学校で3回ほど授業研究会を進め11月に研究公開を行う

予定であり、東北大学から情報教育の分野で全国的に有名な先生を招き講演をしていただくこととしている。

問18 米良山の神楽調査費について、次年度が最終ではないかと思われるがその内容について伺いたい。

答18 各保存会や市・町の協力を得て順調に調査が進んでおり、神楽催行等や資料等の調査はほぼ終えたところである。次年度はその報告書を書き上げる作業になる。年度末には報告書を600部印刷する予定であり、西米良、西都市、木城町に配布し文化庁に報告書を提出するという取り組みである。

特別会計当初予算質疑

◆国民健康保険事業

問1 被保険者が減少とあるが、昨年比と現在の人数は？

答1 40歳以上、40歳以下それぞれ1名の合計2名の減で、現在数は298名となっている。

問2 国保の基金の残高と今後の運用は？

答2 平成30年度末で1億3千159万3千円となる予定で、何年後かには保険料が統一されると思われるため、基金をうまく活用し村民の皆さんの負担が過度に上がらないよう運用していきたい。

◆診療施設

問1 歯科一般管理費の工事請負費の内容は？

答1 歯科診療所で以前から使用しているエアコンの温度調整が困難なため改修工事を考えている。

問2 歯科技工委託料と

あるが、現在の委託先は？

答2 現在のところ、球磨郡と宮崎の二社に委託をしている。

◆介護保険事業

問1 介護予防運動教室業務委託料では、どのような予防事業が行われるのか？

答1 各地区で、介護予防運動教室を年間130回行っており、それに伴う体操を教えるスタッフや先生の委託料や口腔機能向上の取り組みも行っている。

問2 生活支援体制整備事業費の居場所とは？

答2 場所は歯科診療所の住宅スペースで、外出が苦手な方に少しでも出てきてもらい人と交わることで、社会参加ができればと考えている。

問3 生活支援コーディネートターの人数と活動内容は？

答3 一名の雇用をしている、活動内容は地域を回り困りごとを聞いたり見守りを行い、月一のケア会議等を行い医療と福祉と介護の連携した支援を行いたいと考えている。

◆簡易水道事業

問1 飲料水供給施設費の工事請負費の場所は？

◆下水道事業

問1 修繕料が三ヶ年で計上してある理由は？

答1 修繕料が高額なため三ヶ年で施工を考えている。

問2 汚水本管の雨水量調査を行うに至った経緯は？

答2 大雨等の影響で30年度では8回の異常な流入量を観測しており下水道施設の水质に影響を及ぼすため雨水流入箇所を特定し改修を行いたいと考えている。

補正予算

事業費確定などで 不用額を減額

災害査定による事業実施額確定により災害復旧事業費1億5千73万円減など事業費の確定や入札執行残などの不用額により2億6千49万円を減額し、総額を27億6千214万円とする一般会計補正予算及び特別会計補正予算を議員全員の賛成で可決しました。

特別会計の状況

●国民健康保険事業

630万円を減額
総額2億9千999万円

●診療所事業

175万円を減額
総額2億8千442万円

●介護保険事業

1千303万円を減額
総額2億2千229万円

●後期高齢者医療事業

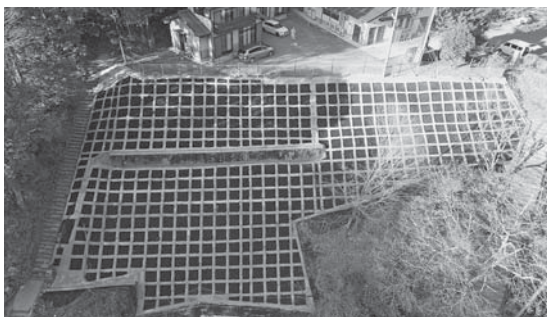
229万円を減額
総額2千526万円

●簡易水道事業

159万円を減額
総額5千176万円

●下水道事業

1万円を追加
総額2千521万円



村所小学校下の急傾斜地工事

補正予算質疑

●一般会計

問1 急傾斜地崩壊対策事業負担金とは？

答1 小学校前の施工中の箇所から学校入口までを30年度予算で県が発注する工事の負担金。

問2 繰越明許の学校施設の空調設備工事とは？

答2 国の臨時特例交付金を活用し小中合わせて16機のエアコン導入予定で6月中の整備に向けて取り組んでいる。

問3 防火管理者の配置は？

答3 庁舎の防火管理者には総務課長を位置づけている。

問4 Wi-Fi設備の状況は？

答4 温泉・村所驛・キャンプ場・菊池記念館・小川作小屋村・川の駅・

湖の駅の7施設で宿泊施設は時間無制限でその他の観光客施設では時間を区切って使用ができる。

問5 空き家の利活用推進事業の利活用件数は？

答5 本年度は申請が無かった、実績として空き家改修は29年度に3件、空き家利活用は26年度に1件と29年度に1件となっている。

問6 配食サービス事業委託減額は？

答6 当初の予定では天包荘に委託の予定だったが給食調理員が不足してくる事態が生じたため。

●特別会計

◆診療施設

問1 診療所一般管理費の使用料及び賃借料の減額は？

答1 在宅酸素の利用者の減と診療施設内のカー

テン、ブラインドのリース料の支払いが終了したため。

条例改正

西米良村景観条例

本村の豊かな自然と歴史・文化等を活かし良好な景観を保全し次世代に継承することを目的とする。

診療所施設設置等に関する条例の一部を改正

歯科診療所の診療費・時間を診療所と同じ扱いとする。

国民健康保険税条例の一部を改正

国民健康保険税の課税限度額を58万円から61万円に。
5割軽減対象となる算

定額を27・5万円から28万円に

2割軽減対象となる算定額を50万円から51万円に引き上げる。

後期高齢者医療に関する条例の一部を改正

他の都道府県の住所地特例対象施設に入所したことに伴い住所が異動しても引き続き宮崎県後期高齢者医療制度の被保険者となる。

過疎地域自立促進計画の一部を変更

小中学校へエアコンを設置することに過疎債を利用する為などにより、過疎計画の一部変更を行いました。

村道路線を認定（小春線）

国道219号小春区の一部であり、現在トンネル

工事中の国道部分1千234・4mが村道として認定されました。村道として取り扱われるのは国道の改良工事が完成し、県の手続き終了後となります。

人権擁護委員候補者推薦に同意

平成31年6月30日をもって任期満了となる2名の人権擁護委員の再任、推薦について同意しました。



国吉 敏幸さん
(村所)



中武 節子さん
(村所)

平成31年第1回定例会における議員賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議 案 名	結 果	1	2	3	4	5	6	7
			中 武 智 和	白 石 幸 喜	上 米 良 玲	濱 砂 勝 義	上 米 良 秀 俊	中 武 勝 文	濱 砂 恒 光
議案第7号	西米良村景観条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	西米良診療所施設設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	西米良村国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	西米良村後期高齢者医療条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	西米良村過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	村道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成30年度西米良村一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成30年度西米良村国民健康保険事業勘定会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	平成30年度西米良村国民健康保険診療施設勘定会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	平成30年度西米良村介護保険事業勘定会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成30年度西米良村後期高齢者医療事業補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成30年度西米良村簡易水道事業補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成30年度西米良村下水道事業補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成31年度西米良村一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成31年度西米良村国民健康保険事業勘定会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成31年度西米良村国民健康保険診療施設勘定会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成31年度西米良村介護保険事業勘定会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成31年度西米良村後期高齢者医療事業予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成31年度西米良村簡易水道事業予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成31年度西米良村下水道事業予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成30年度西米良村一般会計補正予算(第12号)	可決	○	○	○	○	○	○	○

第1回 臨時会

平成31年1月31日に議会臨時会を開会し、次の議案について全会一致で可決しました。

新庁舎備品の売買 契約

新庁舎内に設置する備品等については引き続き使えるものはそのまま利用し、また村内の各施設でも有効活用していくことにしています。今回購入する備品は事務机、椅子、キャビネット他合計で2千44万4千円となりました。

新庁舎の工事請負 変更契約

議場音響設備を議会中継可能とし、庁舎内テレビも4

K・8Kに対応可能とするため710万2千円の増額、宿日直室等に冷暖房機器と換気機器の追加設置及び集落センター汚水管の布設替えとして42万7千円を増額しました。

平成30年度西米良村 一般会計補正予算 (第10号)

3千854万円を追加補正し、予算総額は30億2千262万7千円となりました。主な内容は次のとおりです。

- ・ 小中学校へのエアコン設置工事 722万9千円
- ・ 住民参加型むらづくり推進ファンド事業 1千万円
- ・ (株)ハマテックによるグランピングとダツキー事業への補助金

現 地 調 査



5月から10月までグランピング
ーツ瀬川下りがスタート



1億7千8百万で9月着工
今までより1.4倍の広さ
認定こども園建設予定地(竹原)



小学校道の道幅が広がります。
急傾斜地と村道改良計画現地(村所)



3棟で6千9百万円
平成31年度着工 完成予定
上米良地区村営住宅建設予定地

一般質問

上米良 玲



商工業への支援事業継続は 補助事業は期限内で終了

については、事業後継者の利用の場合、補助限度額も2倍の200万円以内で、

更には活性化の衰退に繋がるのではと心配をしている。

4施設が客室や食堂、トイレ等の改修の整備に活用を頂いた。

の補助事業同様、当初の計画の通り終了したいと考えている。

更に補助率も5分の4以内と高く利用者からは将来に向けた展望も聞かれ、なおかつ事業承継にも繋がるのではないかと期待をしている。

小さな村だからこそ商工業の活性化が、村の活気に与える影響は大きく、果たす役割も大きいのではないかと考えているが、

また、平成31年度で終了する商業基盤支援事業では、18店舗や加工所の改修等の整備に活用して頂き、一定の事業者の皆さんの要望に答えられたのではないかと思っています。

しかし、商工業が住民生活に与える影響は極めて大きく、直結する部分も多いことから他の産業と同様にその重要性は極めて高いと認識している。

宿泊施設等観光基盤整備事業についても本村が取り組んでいる交流人口の問題やインバウンド対策にも大変役に立つ事業ではないかと感じているが、人口減による売り上げ減少は各事業所の経営に大きな影響を与えており老朽化した店舗の改修や事業承継に踏み出せない事業所もある。本村の商工業には無くてはならない職種も多く10年後、20年後を考えると本村に与える影響は大きなもの

村の活気を継続するためにも継続的な支援は、必要であると強く感じている。そこで、既に終了している宿泊施設等観光基盤整備事業の再開と商業基盤支援事業の継続はできないものかを伺いたい。

この事業は各事業者が経営の改善や安定化、収益増加を目指し一定期間に集中して投資することで、商店街のイメージアップや、やる気の醸成を図り延いては、商工業や商店街の活性化に繋がることを目的に実施してきた。補助事業というのは効果をいかに上げるかが重要で集中投資が非常に効果的でもある。このため当該事業については他

これからの村の商工会と連携し本事業の効果の検証を踏まえ、更なる効果的振興対策について、新たなニーズ調査を行い取り組んでいきたいと考えている。

本村では、商業の活性化、商工業の振興のために行う事業などに要する経費に対し補助金等の交付を行い商工業にお力添えを頂いている。宿泊施設等観光基盤整備事業や商業基盤支援事業については、多くの事業者が活用され安定した経営に繋がると期待をされている。特に商業基盤支援事業

が、人口減による売り上げ減少は各事業所の経営に大きな影響を与えており老朽化した店舗の改修や事業承継に踏み出せない事業所もある。本村の商工業には無くてはならない職種も多く10年後、20年後を考えると本村に与える影響は大きなもの

基盤整備事業は、村内の

効果的でもある。このため当該事業については他



ラジオが良く聞ける対策を

▼ やど重なりなど慎重な効果の観点から、 市民のニーズを進めていきたい 費用の観点を

れたがはつきりと聞き取れず残念ながら一番知りたい情報を得ることができなかつたとの声もあつた。

災害が発生した時、孤立などした村民が一番知り得たいのは的確な情報であり、その方法はラジオが一番と考える。

西米良村では、昨年台風風の相次ぐ襲来を受け、道路及び山林の崩壊、風倒木の発生など大きな被害を受けた。台風25号では、電柱が倒れたり電線切断により地域よっては数日間の停電も発生した。

小川地区でも停電となり、テレビ等の電化製品が使用できなくなったため、情報を得る手段としてラジオのスイッチを入

効果などの観点から慎重に進めなければならぬと思つてゐる。

ラジオ難聴は、大変不便であり危機管理上からも安心安全を支えるイン

・中武智和



リース費用の一部助成を ▼ 災害について は単独で検討

フラであることから総務省総合通信局からの情報収集やラジオ局への要望などを行い、ラジオ難聴の解消に向けて検討、研究を進めてまいりたい。

図るといふ意味から大変必要なことである。また、リースにより使用することは初期投資の抑制や維持管理費用の面から大変メリットがあるというふうに認識している。農業

産業と一括りに言つても非常に多岐にわたるが、作業の効率化・省力化等の観点から様々な機械器具が用いられている。新たに起業される方はもち

費用が発生する。村民のニーズや費用対

ろん、既存で行われている方々にとつてもこれらの導入・更新は多額の費用が伴う。JAさんなどの農機具レンタル事業なども行われているが、制度事業の対象とならないものや、台風等の災害復旧などに使用する器具等について、そのリース費用の一部助成を行うことはできないか。

林業機械についても補助金を活用して導入されることほとんどであり、リースというのはまだまだあまりたくさんないと思つている。この様な状況の中で自分で重機等を使って仕事のできる人の数は表情に少ないのではないかと考えると、リースよりも他の方法のほうが良いのではないかと思われ

村長 農林業において機械を進めて行くことは高齢化と人手不足解消につながる、また効率化を

る。台風等の被害の話があつたが国の基準に合わないから台風の被害であっても補助金がないとい

うのも実情である。家の後ろに大きな石が落ちてきて自分たちではどうしようもない等というのが、あるのも事実であるので、災害復旧に係る機械リースでは自らで作業が実施できないこと等も考え、今後は交通災害や作

業路、小規模の法面崩壊など生活環境を維持するための、国の災害として認定できないものについては、村独自で災害復旧事業補助制度というものを考えるということを示している。

村外での葬儀が増えてきている。このため、通夜や告別式に参列するのに難儀をしている人がいる。そこで村内に葬儀場を整備する考えはないか村長に伺いたい。

村長 6年前に同様の質問をされたと記憶している。直近の葬儀状況を見てみると、104件あり、そのうち村内での葬儀が77件、村外が27件となっ

ている。6年前村外での葬儀件数は年間で1・2件しかなく当時と比べて増えているのが伺える。前回の質問を受け施設・駐車場を含めた候補地を調査したがなかなかない。また、最近区長会でも葬儀場の必要性についてお諮りしたが、地区住民からの要望も聞いていないということである。だが、今後村民の要望が高まった場合にはご指摘のとおり、大変重要で切実な問題なので村民の意向調査をし、意見の集約を図って方向性を出していきたい。

村長 村内には村有地を含む共同墓地が145カ所ある。墓地全てが立地条件の良い場所にあるわけでもない。墓参りの際に、足腰に不自由のある方は苦労されているのも事実だと思

う。地方公共団体が墓地を設置する場合には、県知事の許可が必要であり、その許可のひとつとして学校・病院や住宅河川との距離がないと許可にならない。墓地は生活環境との関係で配慮が求められる一方で国民生活には必須の施設であり、先祖の霊を敬い感謝・報恩の念を養うための大切な場でもある。今後村民に、墓地に対しての要望の有無について、聞くことにより今後我が家の墓地をどう管理するかのかきつけにもなるかと思う。需要の把握と適地の選定を今後検討させていただきます。このことについては前向きに取り組みたい。

葬祭場整備の考えは

▼
村民の意向調査をし、方向性をだしたい。



濱砂 勝義

高齢者が増え各地区での葬儀ができなくなり、

の葬儀ができなくなり、

だと思

う。

山村親子留学で 複式学級解消を

▼山村親子留学は 見合わせたい。

近い将来複式学級となる可能性の高い学年はあったが、教職員、人事異動で子供をお持ちの先生を優先して配置いただき複式を解消してきた経緯がある。

議員提案の親子留学制度だが、移住・定住対策室が設置されて以降、子供も一緒に移住し学校に在学している児童数は平成30年度4家族5名で教育の分野でも一定の成果あらわれていると思う。

児童生徒1人1台に配備されたタブレット端末・ICT機器・姉妹都市近隣都市との交流学习・中学校における村営塾の開講など西米良だからこそできる教育を進めている。これらの教育内容についても西米良で生活する魅力の一つとして対外的に発信し、移住・定住を推進するとともに、県教育委員会と連携を図ること、児童生徒の確保に努めることとし、現時点で

濱砂勝義

2学年の生徒数を合わせて17名に達しない場合は複式学級となり、村所小学校も学年によつては2・3年の内にはその可能性がある。その解消策として山村留学制度に取り組む考えはなにか教育長に伺いたい。

教育長

小学校では、1・2年生の数が9名以上、それ以外の学年は17名以上確保できれば単式学級が維持できる。平成31年度の生徒数は小学校67名・中学校19名で現段階では複式学級となる学年はない見込みであるが、

議会定例会を傍聴して

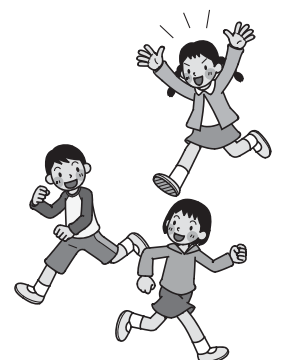
J A西都女性部西米良地区部長 那須ときよ

3月7日最終日、J A西都女性部西米良地区部員16名で議会傍聴をさせていただきました。他に

男性2人がお見えになっていました。最後に傍聴したのが旧庁舎2階奥で傍聴席も薄暗く狭かったような記憶があります。

村所驛ホールでの議会でしたので、広々と明るく会場の皆さんの表情を伺うことができました。関係者の皆さんが席につかれ開会、静かな中に私も緊張し厳粛な気持ちに

は、山村親子留学制度の導入は見合わせたいと思う。議員派遣について「どういうことですかと尋ねると、議員の出張ですと言われその多さにびっくりし日々研鑽され村の発展の為にご尽力いただいているのだなと思います。また、役場職員の皆さんの受け答えに真摯な姿を見ることができました。一般質問では、商工業の活性化、ラジオ難聴の解消、葬儀場の整備、村営墓地の増設などなど



小川作小屋村が日本農業賞“特別賞”受賞!

本村で今一番有名な場所と言えは“小川作小屋村”ではないでしょうか。地区住民の方が地元農産物を使い16種類の季節料理“おがわ四季御膳”を提供し、今では年間約2万人が訪れる名所になっています。

そして、作小屋一帯は花見山として計画的に整備がすすめられており、今年の春も華やかな賑わいを見せていました。また、5月の“山菜祭り”と秋の“月の神楽”も多くの観光客が訪れる一大イベントとなっています。

日本農業賞は、NHK、JA全中、JA都道府県中央会が主催して日本農業の確立をめざし、意欲的に経営や技術の改革に取り組み、地域社会の発展にも貢献している個人、団体を表彰しています。

小川作小屋村はその中の「食の架け橋の部」で特別賞を受賞されました。

何かを計画するには多くの方の理解と協力が必要であり、そのことを実現させるにはさらに大変なご苦勞があると思います。そういった今までの活動が大いに評価され受賞された今回の特別賞は私たちが目指している地域活性化の大きなお手本です。

本当におめでとうございます。さらなる発展とご活躍をご祈念いたします。



編集後記

村民の皆様が待ちわびていた新庁舎が完成し、時代も平成から新たな元号へと変わり、村制130周年を迎えるなど祝い尽くしの年度になりました。

私たち議員も任期を迎え広報委員として最後の議会だよりとなります。

見出しなどの工夫や読み易い紙面づくりに取り組んで参りましたが、いかがだったでしょうか。

これからも引き続きご愛読頂きますようよろしくお願い致します。

(玲)



議会広報編集特別委員会

委員長 白石 幸喜
副委員長 中武 智和
委員 濱砂 勝義
委員 上米良 玲